(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2024年6月3日

滋賀県知事 (市長)

殿

#### 提出者

住 所 京都府京都市伏見区浄菩提院町316番

氏 名 大和ハウス工業株式会社 京都支店 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 075-605-2918

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 京都支店
事業場の所在地	京都府京都市伏見区浄菩提院町316番
計画期間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
当該事業場において現に行っ	っている事業に関する事項
①事業の種類	06 総合建設業
②事業の規模	完成工事高 3.780百万円
③従 業 員 数	193名 (2024. 4. 1)
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	・解体工事 ガレキ類(コンクリート塊、アスコン塊)、木くず→再生処分業者に委託して、再生砕石、チップ(合材用、燃料用)として再資源化 ・新築工事 現場にて建設産廃を19品目に分別し奈良工場に一括して集め品目別に再生処分 業者に委託し再資源化 ・新築工事 (一般工事) 現場にて分別しリサイクル可能な品目については再生処分業者に託して再資源 化。 紙くずについては無償譲渡契約を締結し、 可能な限り廃棄物にしない。

(日本工業規格 A列4番)

		(知 2 )	Щ/									
産業	英廃棄物の処理に係る管	理体制に関する事項										
	(管理体制図)											
	(別表1)(別表2)											
産業	-     廃棄物の排出の抑制に	関する事項										
		【前年度(令和5年度)	実績	]								
		産業廃棄物の種類	Г	□ıl√ı	1年計 田 ン /	1 1 1 1 2 1 1						
		排出量		万 1 和	氏集計用シー 	<u>- トのとわり </u>	t					
	 ①現状	(これまでに実施した	取組)		•							
		1. 住宅系新築工事における当社商品の工業化 ・梱包材を極力簡素化して現場納入を実施、及び梱包材の再利用 ・石膏ボードや瓦、内装下地材のプレカット化 2. 建築系新築工事における一部工業化 ・外壁のパネル化 ・紙くずについては無償譲渡契約を締結し、可能な限り廃棄物にしない。										
		【目標】										
		産業廃棄物の種類			(新築)	6. $2 \text{kg/m}^2$						
C		排出量	建築	系系	(新築)	$25 \text{kg/m}^2$						
	②計画	(今後実施する予定の	取組)									
産業	<b>廃棄物の分別に関する</b>	事項										
		(分別している産業廃	棄物の	り種類	<b>夏</b> 及び分別に関	 する取組)						
	①現状	・住宅系新築工事は1 ・建築系新築工事は廃 ル、石膏ボード、ガラ	ヹ゚゚ヺ゚ヺ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚ヺ゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚	金属	くず、木くず							
		(今後分別する予定の	産業層	<b>E</b> 棄物	の種類及び分	別に関する取組						
	②計画	・現状を継続し分別の	)精度向	句上を	:検討する							

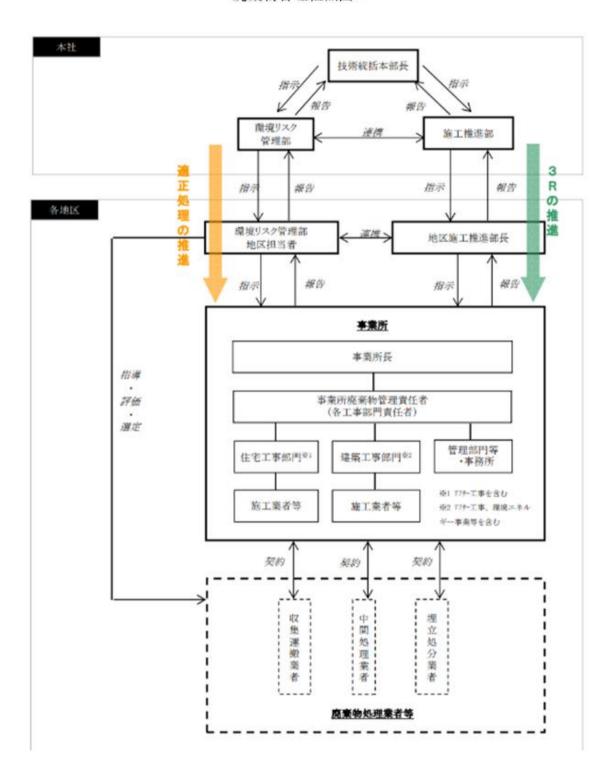
自ら	行う産業廃棄物の再生	- 上利用に関する事項 /
		【前年度(令和 年度)実績】
		産業廃棄物の種類
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 り紙集計用シートのとおり t
	①現状	(これまでに実施した取組)
		【目標】
		産業廃棄物の種類 別紙集計用シートのとおり
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 t
		(今後実施する予定の取組)
自ら	行う産業廃棄物の中間	<b>『</b> 処理に関する事項
		【前年度(令和 年度)実績】 別紙集計用シートのとおり
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った
		産業廃棄物の量
	①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量 t
		(これまでに実施した取組)
	,	【目標】
		産業廃棄物の種類 別紙集計用シートのとおり
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 t t
	②計画	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量
		(今後実施する予定の取組)

In D	行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分に関する	事項	
		【前年度(令和 年度)等	<b> 実績</b>	
		産業廃棄物の種類	7,110,110	
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙集計用等	/一×のとおり t
		(これまでに実施した取組)		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
立光		調小フ 東西		
生未	廃棄物の処理の委託に 		₩ <b>/</b>	
		【前年度(令和 年度)第	<sup>長額</sup> 別紙集計用シ	ートのとおり
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
	①現状		t	t
	①現状	処理委託量認定熱回収業者への		
	①現状	処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t	t
	①現状	処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	①現状	処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	①現状	処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t

## (第5面)

		[	標】	別紙集計用シート	へのとおり	
			産業廃棄物の種類	771/10/2017	V) C40 )	
			全処理委託量	t		t
			優良認定処理業者への 処理委託量	t		t
			再生利用業者への 処理委託量	t		t
	②計画		認定熱回収業者への 処理委託量	t		t
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t		t
		(今	後実施する予定の取組)			
※事	務処理欄					

# 廃棄物管理組織図↩



# (別表2) ↩

廃棄物処理に関する管理体制↩

4

# 【区分】 【部門】

## 【主な職務】↩

事業所	事業所長	【適正処理の推進】	
	The september reduced	・遵法性の確認	
		<ul><li>事業所廃棄物管理責任者の任命</li></ul>	
		<ul><li>委託基本契約書の締結</li></ul>	
	事業所廃棄物管理責任者	【適正処理の推進】	
	(各工事部門責任者)	<ul><li>・廃棄物処理業者等の現地審査</li></ul>	
		<ul><li>事業所廃棄物処理系統図の作成</li></ul>	
		<ul><li>委託基本契約書の作成</li></ul>	
		<ul><li>現場指導(分別、保管管理等)</li></ul>	
		<ul><li>事業所廃棄物管理状況の確認</li></ul>	
		・行政対応 (報告書類の作成等)	
		【3Rの推進】	
		・改善施策の実施	
	住宅工事部門·建築工事部門	【適正処理の推進】	
	1000 parties 1 100 y A 400 page 1 200 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<ul><li>マニフェスト運用管理</li></ul>	
		<ul><li>e i システム運用管理</li></ul>	
		· 現場指導 (分別、保管管理等)	
		【3Rの推進】	
		・ 改善施策の実施	

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了 するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「─」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

#### 産業廃棄物処理計画書の〔集計用シート〕

- ・下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。・行が不足すれば、適宜追加してください。

																@ #A	中間処理			( 1)-2	-3-4+	6-8-9 =0	+(3+(4+	-(§+(§)										
産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		ら直接 した量(t	+9-1	③ 自己 処分又は	海洋投入	<ul><li>④ 自ら中 した量(t)</li></ul>	中間処理	⑤ ④のうち 収を行った。	ち熱回 量(+)	⑥ 自ら中間処理 した後の残さ量(t)	⑦ 自ら <sup>4</sup> により滅』	中間処理 量した量	8 自ら中した後再生				⑩直接及び自 処理した後の				よる区グ	9							① 係良物定	<b>公田本</b> 表	②+®自られ 用を行った量	分	+ ⑨自ら埋立処 又は海洋投入処
		TIME	U/1_E(C	· .	処分した。	量(t)	C/2 (c)		10011 2/21	<b>E</b> (0)	プロシーロリル版 た後の残さ量(1) (1) レた後再生利用し た重(1) グラスト語(2) グラスト語(2) グラスト語(2)			①再生利用第 処理委託量	E者への (t)	(3熱回収認定業者 への処理委託量(t)		<ul><li>④熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)</li></ul>		(5) である (5)		理 修埋立処分委託量(t		への処理委託量(t)		- ///E11 2/54(0		分を行った量(t)						
法で定められている種類(シュレッダーダストなど、一体不可分のものについては、空欄行に記載してください。)	当該事業場において5 じた産業廃棄物の種類 ごとの量	生 ①の: 間処: 自ら記 量	量のうち 理をせず 再生利用	「直接」	①の量の 間処理を 理立処分 投入処分	せず自ら 又は海洋	①の量の 中間処理 廃棄物の 処理前の	した産業 当該中間	④の量のう 収を行った	ち熱回 量	自ら中間処理を 行った後の量	④の量か を差し引し	ら⑥の量 いた量	⑥の量の 利用し、3 に売却した	は他人	⑥の量の 埋立処分 投入処分	}及び海洋	中間処理及び分を要託した		⑩の量のうち 者への再生料量(頃), ⑭除く	用要託	順の量のうち 回収施設設置 処理業者への 理委託量	置者である D焼却処	⑩の量のうち 回収施設設置 の熱回収を行 処理業者への 理委託量	者以外っている	⑩の量のうち、 て破砕等の中 た量(⑫~⑭を	間処理し	⑩の量のうち 託して埋立て した量	, 直接委 最終処分	⑩の量のうち 定処理業者へ 処理量	. 優良認 の委託	②の量と®の 合計したもの (自動計算)	合	の量と③の量を 計したもの (動計算)
	前年度実績 今年度 目標	前年	度今	年度 目標	前年度 実績	今年度 目標	前年度 実績	今年度 目標	前年度 実績	今年度 目標	前年度 今年度 実績 目標	前年度 実績	今年度 目標	前年度 実績	今年度 目標	前年度 実績	今年度 目標	前年度実績	今年度 目標	前年度実績	今年度 目標	前年度実績	今年度 目標	前年度実績	今年度 目標	前年度実績	今年度 目標	前年度実績	今年度 目標	前年度実績	今年度 目標		字年度 育 目標	年度 今年度 実績 目標
燃え殻	0.00																	0.00														0	0	0 0
汚泥	139.60																/	139.60		139.60												0	0	0 /0
廃油	0.00																	0.00														0	0	0 / 0
廃酸	0.00														$\overline{}$			0.00														0	0	0 / 0
廃アルカリ	0.00																	0.00														0	0	0 / 0
廃プラスチック類	50.70												,					50.70						50.7					Ī	50.7		0	0	0 0
ゴムくず	0.00																	0.00											Ī			0	0	þ o
金属くず	0.75	. 🗀										/						0.75	住	0.75	仕		住		住		仕		往	0.75	建 築住	0	0	0 0
ガラスくず, コンクリートくず 及び陶磁器くず	65.40 建宅																	65.40	建宝系	65.40	建築系		建築系-		建築系		建築系		建築系	65.4	系宝	0	0	0 0
鉱さい	0.00 *																	0.00	系(新						*		*~				新《築新	0	0	0 0
がれき類	736.88 条	i i																736.88	新築築	705.36	(新 新築		新 新築		新 新 築		(新 新築	31.52	新 新築	410.88	**類	0	0 /	0 0
ばいじん	0.00																	0.00	~~		~~		)		Ÿ		)		~~		)	0	9	0 0
紙くず	0.06 2 6																	0.06	2 6	0.06	2 6		2 6		2 6		2 6		2 6	0.06	1 3	0	/0	0 0
木くず	42.35 5 2																	42.35	5 2 kg kg	40.05	5 2 kg/kg		5 · kg / kg		5 · kg kg		5 · kg ·		5 · kg 2	42.35	6.	0	/ 0	0 0
繊維くず	0.00 kg kg / kg	3						/										0.00	m²/.		m² /		m² /		/ kg m /		kg kg / kg m ,		kg kg / kg m /		5 kg kg/	0	0	0 0
動植物性残渣	0.00 m	í					,											0.00	····m		''' m²		''' m'		m		m		'''mi		∕m° m°	0 /	0	0 0
動物系固形不要物	0.00																	0.00											Ī			0/	0	0 0
石綿含有産業廃棄物	0.00																	0.00					1						İ			9	0	0 0
廃石膏ボード	32.00					/												32.00		32.00			1						İ	32.00		/0	0	0 0
混合廃棄物(安定型)	0.00																	0.00					1						İ			/ 0	0	0 0
混合廃棄物(管理型)	12.00			$\nearrow$	,													12.00		12.00			1						İ			0	0	0 0
石膏ボード	0.00		$\overline{}$															0.00					1						İ					
水銀使用製品産業廃棄物 (照明)	0.00		$\overline{}$															0.00					†						İ					
合計	1079.74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	0	0	) (	0	1,079.74	0	997.52	0	0.00	0	50.70	0	0	0	31.52	0	602.14	0	0	0	0 0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。